

福積 章男 議員



一括質問方式

- ① 市長の政治姿勢
- ② 観光事業
- ③ 学校のあり方と財政負担
- ④ 区長制度
- ⑤ 県農業試験場蚕業支場跡地
- ⑥ 環境問題
- ⑦ 街路樹

市長の政治姿勢について

問 新型コロナウイルス感染症が地域経済や市民生活に多大な影響を与え収束も見えない状況の中、市民の皆様も不安を抱えていると思うが、市長は今後どのような方針で市政運営をしていくのか。

答 私はウイズコロナの時代は未来に向けた変革のときと捉えています。

ます。先を見通せない時代と言われると思いますが、あらゆる変化や改革にスピード感を持って対応することで市民の皆様が健康で元気に活躍いただける環境を整え、安心して定住でき、さらには移住先や訪問先として選んでいただける地域を目指して、防災・減災対策、医療、教育の充実、産業振興と雇用の創出を図っていきます。

持続可能なまちづくりを目指すSDGsの理念を共有し、市民の皆様とともに、自然と共生し、心豊かに生活できる美しい大洲市を創造したいと考えています。

区長制度について

問 人口減少や少子・高齢化など、社会情勢の変化により行政区の形は以前と違ってきており、地域のコミュニティ機能の低下も心配されるが、そのような行政区への対応として市はどのように考えているのか、将来の区長制度についてお聞きする。

答 一部の行政区によっては世帯の減少や高齢化により、区長等の役員のなり手不足など、多くの問題

を抱え大変苦慮されています。また、少数世帯の行政区は市中心部でも見られ、運営が困難となっている行政区には、自治会に対して近隣行政区との統合の検討をお願いしています。

区長の選任及び業務は自治会に取り組んでいただいていますので、区長一人に負担がかかっている場合には、副区長や班長など新たな役員構成で取り組みやすい体制を整備することなど、区長の負担軽減を図ることや、それに伴う役員手当の細分化も可能です。

行政区は地域住民のコミュニティの核であり、地域住民相互の親睦を図りながら、全体意識の中で心の触れ合う豊かな明るい住みよい地域づくりを行うことで、災害時には地域内での連携や隣近所での助け合いにつながる重要な組織であるため、区入りの重要性の周知と加入促進に努めたいと考えています。

環境問題について

問 LED電球は、電気の消費量が以前と比較して10分の1となるような品質の良いものも多く出てい

る。庁舎ではLED化が進んでいるが、市関連施設のLED化の現状及び効果などについてお聞きする。

答 本庁舎の照明は、平成24年7月から平成26年10月にかけて全てLED化しています。これによりLED化前の平成24年6月と本年6月の電力使用量の比較では、約12.8%の減となっています。この電力使用量は、照明のほか、空調設備、パソコンなど、業務用機器等の主要電力が含まれ、さらに本年6月の使用量には平成27年1月から供用開始した庁舎別館の使用量も含まれており、LED導入による二酸化炭素排出量削減の効果は大きいと考えています。

本庁舎以外では、平成23年度以降に新築、改築した施設にはLED照明を採用していますが、その他の施設では、照明機器が破損したことからLEDに付け替えています。今後も関係部署と調整の上、順次LED化を進めていきたいと考えています。